

# 消化器内科・内視鏡内科・肝胆膵内科

内視鏡治療を中心に消化器疾患のがん治療から救急まで幅広く対応します

## 【消化管】「クオリティーの高い最先端の内視鏡診断・治療を提供します」

高度な技能を要する、食道・胃・大腸の早期がんに対する内視鏡治療である内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を多数行っており、全国でもトップレベルです。また、最先端の治療を導入し、最近では直腸癌に対する内視鏡的全層切除術や難治性逆流性食道炎に対する内視鏡治療も施行しています。

## 【肝 臓】「良性疾患から悪性疾患まで幅広く対応します」

地域の中核病院として肝疾患に対する最新の薬物治療、集学的治療に積極的に取り組んでいます。

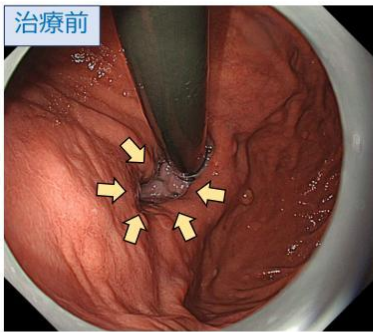
## 【胆・膵】「24時間365日対応で安心・安全な治療を心がけます」

重症化を防ぐために、緊急ドレナージは24時間365日体制で対応します。

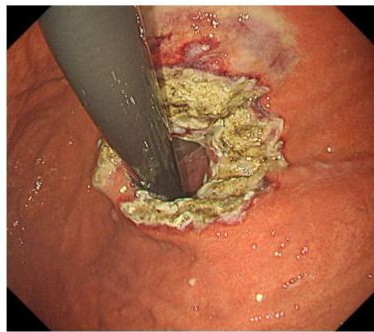
### 【Topic 1】難治性逆流性食道炎に対する新しい内視鏡治療

内視鏡を用いて緩んだ噴門部の粘膜を切除(焼灼)し人工的に潰瘍を形成し、人工的な潰瘍が治癒し瘢痕収縮することで、緩んだ噴門部を引き締めます。

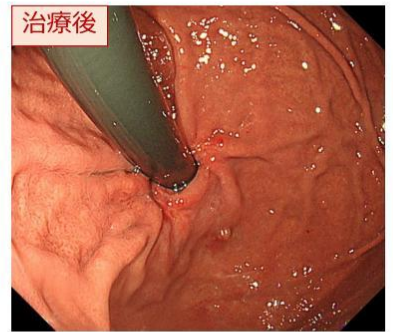
約半数の患者さんで胃薬の休薬ができ、ほとんどの患者で症状が緩和したと報告されています。



食道裂肛ヘルニア・噴門開大



噴門周囲を囲むように粘膜切除やAPC焼灼などを施行



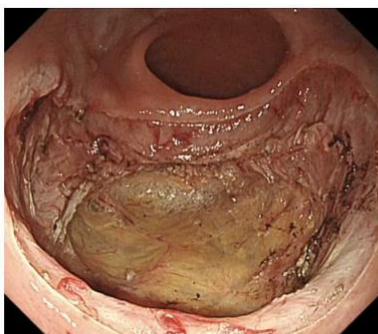
治療2ヶ月後

2022年4月より保険適応「内視鏡的逆流防止粘膜切除術(ARMS)」

### 【Topic 2】直腸における全層切除と内視鏡的手縫い縫合法

内視鏡用軟性持針器の登場により、これまで外科的に行われてきた全層切除も実現可能となりました。

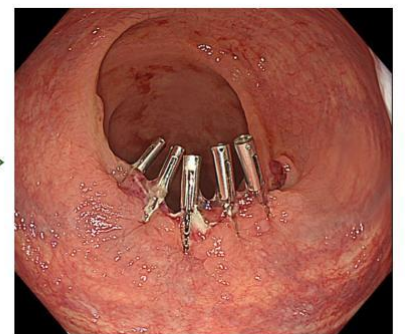
肛門機能温存を目指した低侵襲治療において治療選択肢が増えていきます。



内視鏡的全層切除後の欠損部



内視鏡用軟性持針器を用いた縫合術



欠損部を内視鏡のみで閉鎖

## 【スタッフ紹介】

### ▶ 永田 信二 (H5年卒)

○役職: 病院長  
消化器内科主任部長  
内視鏡内科部長  
肝胆膵内科部長  
○専門: 消化管

### ▶ 青山 大輝 (H17年卒)

○役職: 消化器内科部長  
教育研修管理センター次長  
内科・総合診療科部長  
救急科部長  
○専門: 消化管

### ▶ 嶋田 賢次郎 (H19年卒)

○役職: 内視鏡内科部長  
内視鏡検査・手術センター次長  
消化器内科部長  
内科・総合診療科部長  
救急科部長  
○専門: 消化管

### ▶ 進藤 源太郎 (H29年卒)

○役職: 消化器内科医師  
救急科医師  
内科・総合診療科医師  
○専門: 消化管

### ▶ 佐藤 颯紀 (R5年卒)

○役職: 消化器内科専攻医  
内科・総合診療科専攻医  
救急科専攻医

### ▶ 佐藤 雅英 (R5年卒)

○役職: 消化器内科専攻医  
内科・総合診療科専攻医  
救急科専攻医

### ▶ 福本 晃 (H10年卒)

○役職: 診療統括部統括部長補佐  
内視鏡内科主任部長  
内視鏡検査・手術センター長  
消化器内科部長  
内科・総合診療科部長  
○専門: 消化管

### ▶ 榎木 慶一 (H18卒)

○役職: 肝胆膵内科部長  
消化器内科部長  
内科・総合診療科部長  
救急科部長  
○専門: 肝臓

### ▶ 關藤 剛 (H22年卒)

○役職: 肝胆膵内科副部長  
消化器内科副部長  
内科・総合診療科副部長  
救急科副部長  
○専門: 胆のう・膵臓

### ▶ 大家 進太郎 (R3年卒)

○役職: 消化器内科専攻医

### ▶ 行武 正伸 (H15年卒)

○役職: 肝胆膵内科主任部長  
消化器内科部長  
内科・総合診療科部長  
救急科部長  
○専門: 胆のう・膵臓

### ▶ 朝山 直樹 (H18年卒)

○役職: 消化器内科部長  
内科・総合診療科部長  
救急科部長  
○専門: 消化管

### ▶ 末廣 洋介 (H25年卒)

○役職: 肝胆膵内科副部長  
消化器内科副部長  
内科・総合診療科副部長  
救急科副部長  
○専門: 肝臓

### ▶ 毛利 佳裕 (R4年卒)

○役職: 消化器内科専攻医

## 外来診療 担当

	月	火	水	木	金
1診	嶋田	永田	青山	福本	朝山
2診	榎木	AM 大家	榎木	進藤	末廣
3診	行武 (Hi PEACE)	-	關藤	行武	毛利

## 【連携のお願い】

がん地域の皆さまに最高の医療を届けるため、最先端の技術と実績を活かし、質の高い消化器診療を提供しています。先生方にとって頼れる存在であり続けられるよう、連携を大切にしながら、迅速かつ適切な対応を心がけております。



▲消化器内科ページ

